

4. 理科

科目	理科総合B	単位数	2	区分	必履修
教科書・教材	第一学習社 「新理科総合B」	配当年次	1年次		
授業のねらい・概要					
能力的に多様化している生徒に、基礎的な理科的素養を身につけるため、まずは、身近な地学分野と生物分野をとおして、理科としての基礎学力と、自然科学的な考察力を養う。					
授業の進め方					
他社に比べ、写真や図を豊富に採り入れた教科書採用したので、これらを活用しながら、興味と関心を引き出し、楽しい授業を目指す。					
		学習の内容		考查	時数
前期	4月	地球の変動と景観について		中間	17
	5月	地質構造と地震、火山について			
	6月	大気と水の大循環、天気について			
	7月	地球の熱収支		期末	
	8月	太陽系と、惑星としての地球			
9月	地球と生命の誕生				
後期	10月	生命の移り変わりや人類の誕生		中間	17
	11月	遺伝の法則性と遺伝子			
	12月	生物の多様性と環境順応			
	1月	生態系の遷移と環境の変化		期末	
	2月	人間の活動と環境保全			
評価の方法					
出席状況・日常の学習態度、提出物、定期テスト等を総合的に判断して評価する					
備考					
中学での学習の不十分な部分を補いつつ、次年度学習への橋渡しとなるよう基礎固めに留意する。					

科目	化学I	単位数	2	区分	選択必履修
教科書・教材	第一学習社 改訂「新化学I」	配当年次	2年次		
授業のねらい・概要					
身の回りに様々な形態で、化学的要素が含まれていることを理解させ、科学時代に生きる人間として、必要な化学的資質を養う。					
授業の進め方					
教科書を参考にしながら学習を進め、簡単な実験やプリント等により、問題演習等を織りまぜながら進める					
		学習の内容		考查	時数
前期	4月	○身の回りにおける物質の特性を考える。		中間	17
	5月	○物質の成分から混合物と純物質の違いを理解し、分離方法も考え			
	6月	○純物質をさらに調べると化合物と単体となる事を理解し、分離方			
	7月	○原子の違いが、原子内部の陽子や、電子、中性子が含まれる数の		期末	
	8月	○周期表を覚え原子の構造を書けるようにする。			
9月	○イオンの原子構造を学資する。				
後期	10月	○電解質を溶かした溶液中を電気が流れる様子を学ぶ。		中間	17
	11月	○分子の存在を知る。			
	12月	○原子量、分子量、式量、物質量を学ぶ。			
	1月	○酸と塩基と塩の関係を学ぶ。		期末	
	2月	○水素濃度について学ぶ。			
評価の方法					
出席状況・日常の学習態度、提出物、定期テスト等を総合的に判断して評価する					
備考					
2～3年次に「化学I」「生物I」より一科目選択必履修					

科目	生物I	単位数	2	区分	選択必履修
教科書・教材	第一学習社 改訂「新生物I」	配当年次	3年次		
授業のねらい・概要					
私たちの身の回りの環境には、さまざまな生物で満ち溢れている。「生物」とはなにか、「生命」とは何か、漠然としながら感覚として理解している重要な課題を特に「生物の共通性」に着目しながら、理解してゆく。					
授業の進め方					
教科書を参考にしながら学習を進め、簡単な実験やプリント等により、問題演習等を織りまぜながら進める					
		学習の内容		考查	時数
前期	4月	○細胞の働きと構造について学ぶ。		中間	17
	5月	○細胞への水の出入りについて学ぶ。			
	6月	○細胞の増殖として、体細胞分裂について学ぶ。			
	7月	○生殖について学ぶ（無性生殖、有性生殖）		期末	
	8月	○減数分裂について学ぶ。			
9月	○配偶子の形成。				
後期	10月	○受精（ウニの受精）について学ぶ。		中間	17
	11月	○遺伝の法則について学ぶ。			
	12月	○二遺伝子雑種について学ぶ。			
	1月	○不完全有性と複対立遺伝子について学ぶ。		期末	
	2月	○遺伝子の相互作用について学ぶ。			
評価の方法					
出席状況・日常の学習態度、定期テストを総合的に判断して評価する					
備考					
2～3年次に「化学I」「生物I」より一科目選択必履修					